

**鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会
議事録**

日時：令和4年10月16日（日）

14:00 ～ 15:30

場所：摂津市立 新鳥飼公民館

【出席者】

■住民：31名

■運営関係者：

	所 属	役 職	氏 名
摂津市	—	副市長	福渡 隆
	市長公室	室長	平井 貴志
	〃 政策推進課	参事	湯原 正治
	〃 政策推進課	主幹	衣川 智久
	〃 政策推進課	副主査	近重 佑太朗
	総務部	理事	辰巳 裕志
	生活環境部	次長	丹羽 和人
	建設部	参事	寺田 満夫
	次世代育成部こども教育課	課長	浅田 明典
株式会社 オオバ	まちづくり計画部計画設計課		沖田 麻子
	〃		伊勢 聡史

【議事次第】（司会：近重副主査）

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 資料説明（衣川主幹）
 - ・配布資料「鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会 ご意見一覧」について
 - ・配布資料「鳥飼まちづくりグランドデザイン 資料1」について
 - ・配布資料「鳥飼まちづくりグランドデザイン 資料2」について
4. 質疑応答（応答：福渡副市長、湯原参事ほか）
5. 閉会

【配布資料】

- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会 ご意見一覧
- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会 資料1
- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会 資料2 都市安全確保拠点整備計画について
- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会 別冊参考資料

【質疑応答議事録】※質疑応答の区切りを、奇数回・偶数回で色分け。

1	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の説明会は居住性向上エリアAについての意見交換の場であるが、他のエリアについての意見を言える場は設けられるか。2年をかけて鳥飼まちづくりグランドデザイン（以下、グランドデザイン）をつくっていただいて感謝している。今回の説明にもあったように、住民意見を聞いた後、個々の取組を具体化していくとのことであるが、それぞれのエリアに対する意見を述べられる場があるのか。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは居住性向上エリアAの将来予想について、住民の意見を聞いてブラッシュアップしていきたい。対象とするエリアの順番は未定だが、それぞれのエリアについても、今後順次グランドデザインの周知と、将来予想について住民からご意見をもらう場を設ける。
2	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の意見の把握はち密に行われているとの印象であるが、地域の様々な問題点について、住みやすいまちづくりにあたり急いで取り組むべきもの等、取り組む順番を庁内で検討したことはあったか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションの建設やこども園の老朽化に伴う建替えは現在、進行中の事業である。いただいている意見についても緊急を要するものとそうでないものがあると思うが、個別の取組については、いただいた意見を踏まえ、今後取り組む順番を検討する。
3	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の説明会では30～50年後の鳥飼地域の人口減について説明があったが、現時点の鳥飼地域が他市と比べ大きく人口が減少し、学校の統廃合の話も出ていることについて、その原因を議論したか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は日本全国で起こっており、その原因は様々なものがあるが、市が対処できることとできないことがある。これから人口を増やすことは難しいが、魅力ある鳥飼地域にして、それを発信することで、他地域の人が来てくれるようになるのではないかと考えている。それにはまず、現在住んでいる人が気持ちよく住めるようになっていないといけなないと考えている。 ・今すぐに取り組むべき問題があるのではないかという意見についてはその通りである。しかし、先を見据え、鳥飼地域をどのような地域にするのかについて、市と住民とで共通の認識を持ちたいと思っている。鳥飼地域を魅力あるまちにしていくことはすぐには達成できないことであると思っており、それには住民の協力が大切であり、必要であると認識している。時間がかかると思われるかもしれないが、市と住民とで協力しながら、取り組んでいきたい。
4	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関して、モノレールの駅から歩いて15～20分の範囲の住民は良いが、バスの本数は2年ほど前に削減され、部分的には限界集落と同じような状況である。 ・交通渋滞に関して、私の勤めていた時で言えば、一津屋交差点では毎朝ラジオで渋滞が報じられていた。中央環状線・大阪高槻線は必ず渋滞している。 ・人口に関して、一般的な人口減少は理解しているが、鳥飼地域はそれよりもひどい。 ・上記の点について、副市長の認識が甘いのではないか。

	市	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通・渋滞に関するご意見は、資料1のp.24にエリア全体に対するものとして整理しており、エリア全体を議論する際に取り上げ、議論したいと考えている。 ・人口減少については把握しているが、すぐに解決できるものではない。また、学校の適正配置や公共交通については既に庁内で検討を進めている。 ・今日の説明会では、住民意見の整理状況と今後の議論の進め方を示し、進め方に対する意見を伺いたい。そして、この形で進めて良ければ次回以降、この形をベースにどのように進めていくかを相談させてもらいたい。
5	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の説明会で、交通問題に対する勉強会で検討しているとのことであったが、その進捗はどうなっているか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市内全域の交通の問題について庁内職員と外部有識者で検討を進めている。
6	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決には、周辺の市や大阪府との協力が必要であり、市のみで考えるのは難しいと思う。周辺の市や大阪府との関係はどうなっているか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・市だけでは取り組めないものもあると思っており、実際に消防や防災等、近隣の市と協定を締結して取り組んでいるものもある。必要に応じて近隣市と協力していくというのは重要な視点であり、ご意見としていただく。
7	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションや水防センターには、資料2で整理された住民意見をどこまで、どういう形で反映できるか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・都市安全確保拠点整備計画は来年3月までに策定する予定で、内容については大きな方針を示したものとなり、計画書には取組についての事細かな記載はできないという点をご理解いただきたい。今後、住民の皆様よりいただいた意見をどのように実現させるかは、計画策定後になるかと思うが住民の皆さんと話し合って決めていく。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーション及び水防センターの平時の利用については、市だけでできるものではない。いただいた意見をどうやって実現するかを皆さんと相談していきたい。市と住民とで、できる部分の役割分担が必要となってくると思われるが、その内容について議論していきたい。
8	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションや水防センターの施設の大きさが決まれば、反映できる意見はおおよそ決まってくると思う。どこまでの意見が反映できそうか検討を詰めていってほしい。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションの造成工事が始まる頃から水防センターの設計が始まるという予定である。それまでにはあと数年があるため、それまでに水防センターの平時利用の議論を進めていきたいと考えている。
9	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・今回までで住民意見の集約と整理をしたことは分かった。集約した意見を具体的にどうやって進めていくのか。 ・資料1の鳥飼仁和寺大橋の早期無料化について、以前広報で何年後に実現されるとの記事を見たが、そういった決まっていることも示さないのか。 ・交通についてはその関連する部署で取り組む、学校の統廃合についてもその関連の部署で取り組むといったように、小さなまとまりで議論していくのか。

		<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインは計画書として長期計画・短期計画という形にして取り組んでいくのか。個別の問題に対して何年までに取り組むというところまで決め、30年後までの計画とするのか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインは構想であり、何年に何をやるといった具体的事業を示す計画ではない。資料1に記載の「取組の方向性」というのは実際に具体的な事業として何かを行うということではなく、あくまでも方向性を示すものである。 ・資料1に記載の鳥飼仁和寺大橋の無料化については令和9年に無料化が決まっているが、資料1についてはこれまでにいただいた住民の意見のすべてを載せているものである。 ・交通や教育に関してはエリア全体で取り組むこととしてグランドデザインの中に記載があるので、該当箇所を読んでもらえればと思う。また、第五中学校区は生徒の減少が進んでいるため、適正規模・配置のために市教育委員会で検討が進められている。 ・今後の進め方については、居住性向上エリアAを対象に、取組の方向性に基づく、個別具体的な取組や手段については住民意見を踏まえながら進めていく。
10	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・何故グランドデザインが必要になったのかを、常に振り返りながら取り組んでもらいたい。安威川以北・以南で差が大きく、今後もその差の拡大が危惧され、改善の必要性があることからグランドデザインがつけられた。 ・交通問題等、個々の喫緊の問題はそれぞれの部署で取り組んでもらっているが、それぞれの延長上で同じ方向を向いていることでまちづくりが進んでいく。市内の部署がその認識を持って取り組まないと別々に取り組んでもできない。 ・これから20～30年のまちづくりを担うのは住んでいる住民である。住民が主体となっていけるような仕組みが必要である。また、住民のコミュニティが危機的な状況にあると思うが、20～30年先までコミュニティを維持するための仕組みづくりが必要である。 ・誰がいつまでにどのように進めていくのかという議論に加え、どういった仕組みで進めていくのかという点も議論される必要がある。市の職員は数年で部署の配置転換があり、その後関与しなくなることもあると思われるし、鳥飼地域で住んでいるという職員も少ないと思う。市の職員が鳥飼地域について詳しくない点を補えるのが鳥飼地域の住民なのだから、意見を聞くだけでなく、住民の参画の仕組みを示してほしい。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況をご説明すると、グランドデザインについて住民の皆さんに知っていただいて、市と住民が同じ方向を向いて取り組めるようにしていきたいという段階である。今後、いただいた意見から個々の取組を検討する際には、仕組みづくりは当然議論する必要があると思っている。そのため、次回以降は仕組みづくりの点も相談させていただくことになると思っている。
11	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の子どもを持つ親だが、学校の統廃合で小学校がなくなることが心配である。私立学校の多様化が進み、そうした学校へ子を通わせるために引っ越しをするという話も聞く。公立学校でも教育に力を入れてほしい。大胆な政策をしてもらいたい。授業日数を増やすことで生徒数が増えたという事例もある。

		<p>今だったら英語の授業でネイティブの先生を使った授業を行うというのも魅力になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、市教育委員会の説明会の場があったが午後7時開始で、子どもの面倒を見なければならず参加できなかった。そうした人の意見もいうことのできる場をわかりやすく広報してほしい。 ・摂津市ではプレミアムクーポン制度や子育て支援の充実、保育園が待機なしで入れる等しっかりしている良い点もあるのに惜しい。 ・遊べる公園がない、近くに塾がない。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する意見は、資料1のp.23にエリア全体に係るものとしてまとめられている。また、これらの意見は教育委員会にも共有しており、検討されている。 ・本日のご意見も教育委員会に伝える。
12	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の説明会は参加者が30人程度と少ない。住民側でもPRを行っているので、市からももっとPRして、次回は100人くらい集めてほしい。 ・グランドデザインでは道路の整備を行うとしているが、新在家辺りは地主が多いことや道が狭いこと、水路が通っていること等、障害も多く、実現できるのか。どのようにして行っていくのか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・市としてもチラシを配布する等行っているが、次回についてもPRを頑張る。 ・次回以降は居住性向上エリアAを対象に個別具体について議論する場を設けていくつもりであり、この取組に興味のある人が集まる形となるため人数は少なくなるかもしれない。また、新在家を含め、他のエリアについては今後、それぞれについて議論を行う場を設ける。どうやって住民参画を行うか、どうやったら住民が気持ちよくやっていけるのかについては、今後のそうした場で議論していく。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・住民組織の参画に関連して、今年の5月に自治連合会からコミュニティ活性化についての要望を受けた。自治連合会では、自治会加入率が50%を切る状況となっているという危機感があり、昨年に自治連合会の役員によって議論を行っていた。コミュニティ活性化の検討の中で、自治会だけで解決するのは難しく、子供会・老人クラブ・NPO等の市内の様々な団体が協力して活性化していく仕組みを作ってほしいという要望が挙げられた。それを受け、庁内では検討を進めているところであるということをお知らせさせていただく。
13	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・初めのころの説明会に比べれば参加者が増えており、市が広報を頑張ってくれたおかげだと思っている。あとは、これらの問題解決について、一緒に考えてくれる人にどれだけ伝えられるかにかかっていると思う。 ・前回から意見がいっぱい出ているが、この中から何が進めていけるのかを考えていきたい。例えば、高齢者ドライバーが免許を返納すると、公共交通機関が不足しておりどこにも買い物に出かけられないことが起きる。意見の中にもあったが、オンデマンドバスによって誰もが行きたい場所にすぐに行けるという仕組みを、大阪メトロが取り組み始めているという例もある。何か少しでもやってもらえればありがたい。 ・10/30に、市社会福祉協議会のイベントとしてせんだん公園にて、「せんだん鳥

		<p>の市」が開催されることも、ありがたいと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の説明会からは様々な角度から議論が進められれば良いと思っている。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・話していただいた通り、様々な意見をいただいているがこれからは項目に分けて議論していくことで、議論が発散していかないようにしたいと考えている。コミュニティの話はコミュニティ関係の議論の場で、オンデマンドバス等の話は公共交通関係の議論の場というように、内容を分けながら進めていくつもりである。
14	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションやこども園等が具体的に進んだ際に、説明会は行われるのか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの説明会は都度行う予定である。
15	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションは国が整備するもので、上部利用は市が考え、それに対して補助金が出るという認識で合っているか。 ・河川防災ステーションの上面全体を計画するという事ではないということか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーション上には破堤した場合の復旧用資材を置くことになっており、その一角に市が水防センターを建設する。 ・平時は、河川防災ステーション上部が利用できるが、国は復旧に必要な量の資材を置いており、その量は変えられないが、配置の仕方は、我々が平時利用しやすいように検討していただけると考えており、国とも平時の使い方について協議していきたい。また、水防センターの建設について、補助金はある。
16	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・河川防災ステーションと水防センターにどれだけ意見反映できるかで、ランドデザインに対する住民の機運が変わると思われる。そのために住民の意見を聞いて、成功していただきたい。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の説明会に関して市の周知方法について補足説明するが、鳥飼地域の小学校・中学校、公立私立の幼稚園・保育園のすべての保護者の方に向けて今回の説明会の案内を行った。また、PTA協議会からのお声がけもしていただいた。
17	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は個別課題についての議論となるのか。メインの議題は何か。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の説明会の内容は、後日改めて周知を行う。市のホームページや公式LINEアカウントにて案内をさせていただく。

以上